

✿ 共通テストは一般入試の始まりにすぎない

最後までしっかり戦い切る

— 郡山東高校は3年生を最後まで支援する！ —

共通テストが終わって約10日。この間、特に国公立大志願者は迷い、悩んだことでしょう。いざ二次出願先が決定したら、もう後ろを振り返ることなく、合格に向けて勉強あるのみ。明日からは、自宅学習期間に入りますが、東高校の指導は続きます。卒業式が終わっても、それぞれの入試科目に応じ、最後まで個別に指導をしていくのが東高校の特徴です。

まずは、もう一度、自分の闘争心に火をつけましょう。そして、3月までしっかり戦い切ること！全教職員が最後まで3年生を支援していきます。



大学入試には 毎年さまざまなドラマがある 結末は終わってみなければわからない

共通テストが終わって気持ちを弛めてしまったのでは、これまでの努力が無駄になってしまいます。再度、気持ちを高めて、次の国公立大入試と私立大入試に挑んでほしいと思います。

特に今年は、共通テスト導入元年であることに加え、コロナ禍の影響がかなり大きいと思われることから、最後まで何が起こるのかわからない年です。自分から簡単にあきらめてはいけません。

【国公立大入試】

A・B判定でも簡単に逃げ切れない！ C判定以下でも逆転可能

全員が「A、B判定」で出願できるわけではありません。「C判定以下」からの挑戦もたくさんいます。A、B判定だからと言って、逃げ切れるほど大学受験は甘くはありません。他の人より少しだけ有利な条件で二次試験に進めるといっただけで、合格が確約されているわけではありません。一方、「C判定以下」の人も、逆転のチャンスは大いにあるので最後まであきらめてはいけません。

【私立大入試】

近年の「定員の厳格化」の影響により、合格者数が厳しく絞られてきていますから要注意です。この影響は、首都圏の大規模校だけでなく、地方大学にも及んでくることは間違いありません。さらに今年は、コロナ禍の影響で、感染者数の多い首都圏の大学を避ける動きも見られますから、本校生の受験が多い仙台市の東北学院大や東北福祉大など、地方大学も難化が予想されます。「共通テスト利用方式」もこれまで以上に志願者が多く激戦になると思われます。

進路指導部から3年生へのお願い

以下の点について、進路指導部から3年生にお願いがあります。協力してください。

1. 国公立大受験者は『受験番号』を担任へ報告

合格発表後すぐ、県教育委員会や新聞社などに本校の合格者数を報告する必要があるため、すみやかに合否確認をしなければいけません。ゆえに、国公立大受験者は、「受験番号」が分かりしだい、すみやかに担任へ知らせてください。

2. 私立大のすべての『合否結果』を担任へ報告

私立大学の合否結果が発表されたら、すみやかに、すべての「日程」・「方式」の受験結果を担任に報告してください。人によっては、同一の大学に、「共通テスト利用」と「一般入試〇〇日程」というように、複数の方式で合格している人もいます。また、予定していた受験を取りやめた場合も必ず報告してください。すべてを正確に記録し、各機関に報告することになります。

3. 最終的な『進路先』が確定したら担任へ報告

受験結果がすべて出そろい、最終的にどの学校に進学するのかが確定した場合は、必ず担任へ報告してください。誰がどこに進路先を決めたのかを「指導要録」に記録して残します。また、進路先の各種の統計データを県教育委員会や文科省等に報告しなければいけません。浪人することを決めた場合も、どの予備校に通うのか知らせてください。

4. 小論文・実技・面接の『受験報告書』を担任へ提出

後輩への情報提供をお願いします！

国公立、私立を問わず、学校推薦型・総合型選抜において、教科試験以外の「小論文または総合問題」、「実技試験」、「面接試験（グループディスカッション）」が課された人は、記憶が確かなうちに、「受験報告書」を作成し、どのような形式、内容の試験（問題冊子を）だったのか、詳しい情報を提供してください。この記録は本校の貴重な財産となり、後輩たちが有効に活用していきます。

5. 『2021版の赤本』を進路室に寄贈してください

すべての受験が終了し、自分が購入した「2021版の赤本」が不要になったら、ぜひ、学校に寄贈してください。書き込みがしてあったり、多少痛んでいても全くかまいません。さらに、合格を決めた大学の赤本であれば、「縁起の良い赤本」として大歓迎です。「合格者からの寄贈」とラベルを張って、後輩に貸し出します。ぜひ、後輩のために協力してください。